

令和4年度「知識集約型社会を支える人材育成事業（DP）」採択校合同シンポジウム

知識集約型社会における 新しい大学教育の姿

文理融合という横糸と高大院接続という縦糸で織りなす人材育成

2023/

3/14 TUE
13:00-15:00

開催形式 ハイブリッド（対面及びオンライン）による開催

文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業（DP）」は、今年度で事業3年目を迎え、メニューⅠ・Ⅱ採択校にとっては中間評価の年度に当たります。本シンポジウムは本事業が折り返し地点に差し掛かる中で、知識集約型社会における大学が果たすべき使命や役割、さらには、求められる人材育成のあるべき姿について改めて見定め、考える機会を設け、今後の事業取組の更なる発展に繋げることを目的に、採択校9大学が共同主催するものです。

会場	KKRホテル金沢 3階 鳳凰の間 石川県金沢市大手町2-32	
定員	現地会場 80名 オンライン 100名 ※会場参加は、定員になり次第、お申込み受付を終了いたします。	
対象	大学関係者ほか、どなたでも参加可能（参加費無料）	
申込方法	以下の申込みフォームより必要事項をご記入の上、お申込みください。申込み受付後、オンライン参加の方には、Zoom情報をシンポジウム開催日の前日までにメールにて送付いたします。 https://forms.gle/W8Pdsa3PjYW773W69 お預かりした個人情報は、本シンポジウムの運営業務以外には使用いたしません。	
申込期限	2023年3月9日（木）17:00	
お問合せ	「知識集約型社会を支える人材育成事業」幹事校事務局 （金沢大学学務部学務課内） TEL：076-264-5956 E-mail：gakukikaku@adm.kanazawa-u.ac.jp	
主催	金沢大学（幹事校）、新潟大学、信州大学、大正大学、 東京都市大学、麻布大学、千葉大学、早稲田大学、名古屋商科大学	

令和4年度「知識集約型社会を支える人材育成事業（DP）」採択校合同シンポジウム

知識集約型社会における 新しい大学教育の姿

文理融合という横糸と高大院接続という縦糸で織りなす人材育成

13:00～13:05

「知識集約型社会を支える人材育成事業」幹事校挨拶

13:05～13:15

文部科学省来賓挨拶

13:15～14:00

基調講演 1

文理横断・文理融合教育の行方

～中央教育審議会大学分科会大学振興部会の議論を踏まえて～



大阪大学
スチューデント・ライフサイクルサポートセンター長・特任教授
川嶋 太津夫氏

名古屋大学大学院で教育社会学を専攻。名古屋大学教育学部助手を経て、1993年に神戸大学大学教育研究センターに助教として赴任。神戸大学大学教育推進機構及び大学院国際協力研究科教授を経て、2013年から大阪大学教授。現在は大阪大学特任教授（常勤）スチューデント・ライフサイクルサポートセンター長。専門分野は比較高等教育論。

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構研究開発部客員教授、同機構大学機関別認証評価委員会委員、国立大学協会入試委員会専門委員、第11期中央教育審議会臨時委員（大学分科会、質保証システム部会、大学振興部会、認証評価機関の認証に関する審査委員会）などを務める。文部科学省大学入試のあり方に関する検討会議座長代理も務めた（2021年7月まで）。

14:00～14:30

基調講演 2

知識集約型社会に求められる人材育成とは

～文理融合・高大院接続の観点から～



千葉大学
教育学部 アジア・アセアン教育研究センター長・教授
野村 純氏

1993年佐賀医科大学医学研究科にて博士（医学）を取得。同年鳥取大学医学部助手（生命科学科）に赴任し、1995年アラバマ大学医学部（ハワード・ヒューズ医学研究所研究員）を経て、1998年千葉大学医学部助手、2002年千葉大学教育学部助教授、2011年から千葉大学教育学部教授。現在、千葉大学教育学部アジア・アセアン教育研究センター長、千葉大学教育学部 副学部長（国際交流、研究推進）を兼務。専門分野は、免疫生化学、科学教育、グローバル教育。

2016年ひらめき☆ときめきサイエンス推進賞（日本学術振興会）、2019年国際貢献賞（日本科学教育学会）、2022年科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞理解増進部門（文部科学省）を受賞。社会貢献活動として、日本学術振興会特別研究員等審査会専門委員、千葉市科学都市戦略委員、千葉市科学フェスタ実行委員、千葉サイエンススクールネット指導研究会講師、全国養護教諭連絡協議会・千葉県養護教諭会研究指導講師、木更津高校SSH運営協議員など多数の委員・講師等を務める。

14:30～14:50

質疑応答・意見交換

14:50～15:00

クロージング・閉会挨拶



知識集約型社会を支える
人材育成事業（DP）
Human Resource Development Project
for Resilient and Sustainable Society